



## プログラム

# 里山で自然体験

里山には、使ってみるとおもしろいものがたくさんあり、何かをつくるための材料をたくさん手に入れることができます。里山の自然を利用すると、楽しい体験をすることができます。

## 活動のねらい

里山にある自然の材料を使った「モノづくり」を楽しみながら、さまざまな自然に触れる。また、里山の自然のさまざまな利用法を知る。

### □準備物 ◇事前準備

- 自然の材料（稲わら、竹、土、木の枝、間伐材、植物の葉、木の実やタネなど）
- 作業用道具（鋸、小刀やカッター、鉋、木づち、ペンチ、はさみなど）
- 野帳またはメモ帳 □軍手 □新聞紙 □縄またはひも □ボンド
- ◇事前に自然の材料を手に入れる場所を決め、下見を行う。
- ◇事前に「モノづくり」を行う場所を決め、道具や活動場所の準備を行う。

## 里山で自然体験の参考例

### 例.1 里山の自然や恵みをそのまま利用して楽しむ体験活動

- ・「間伐材を使ったシイタケの原木栽培」、「竹ぼうきをつくろう」、「竹筒ごはんをつくろう」、「落ち葉のプール」、「雑木林の遊園地」など

### 例.2 里山を歩きながら材料をみつけ、みつけた材料で楽しむ体験活動

- ・「木の実やタネをつかった工作」、「葉っぱで絵を描こう」、「光る泥だんごをつくろう」、「赤土から宝物をさがそう」など

### 例.3 田んぼの米づくりを利用して楽しむ体験活動

- ・「わらを使って遊ぼう」、「わら細工に挑戦しよう」など

※上記以外にもおもしろい素材をみつけ、工夫して使ってみましょう。

## 活動のしかた

1. 何をテーマにした自然体験をするか説明します。
  - \* どのような材料や素材を使うか、どのような方法で材料や素材を調達するかを伝えます。
2. 里山を歩いて材料をみつけたり、里山の自然から活動の素材を調達したりします。
  - \* 材料や素材は必要な分だけ手に入れるようにします。
  - \* 特別な準備が必要なものは事前にそろえておくようにします。
3. 手に入れた素材を使っていろいろなものをつくります。
  - \* どんな素材がどのように使えるかなどを野帳やメモ帳に記録しておくとういでしょう。
  - \* 作業や活動の中で注意しなければならないことは確実に伝えます。
4. できあがったものを飾ったり、使ったり、食べたりしながら楽しめます。
  - \* 上手にできたものや工夫されたものはほめるなどして活動の意欲を高めましょう。

## ○まとめ ☆発展

- 「モノづくり」で難しかった点や工夫した点をお互いに発表しましょう。
- 里山で手に入れた材料や素材が、どんなものに利用できたか確認してみましょう。
- ☆里山の自然の利用法について、地域の人々に聞いたりしながら調べてみましょう。
- ☆里山の自然の利用と里山の維持・管理の関係について考えてみましょう。

[担当：亀山]